

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

技術・家庭

10

京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	技術・家庭（技術分野）
-------	-------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
教育図書(株)	6	教 図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

教科書種目	技術・家庭（家庭分野）
-------	-------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
教育図書(株)	6	教 図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (技術分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習内容は押さえられている。各編が「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成され、3学年間の見通しを持って教科の目標が達成できるように配慮されている。 ・生徒の発達段階に合わせて、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各編は「編の導入」、「基本ページ」、「学習のまとめ」の構成で統一し、問題解決例や資料はその構成の中で適切に取り上げている。 ・学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。また、生徒のワークシート例等を充実させて、目的に応じて書く力を高めるようにしている。 ・「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒への注意を喚起している。 ・各編末には「学習のまとめ」で、学習したことを確かめよう（知識・技能）、考えを深めよう（思考・判断・表現）、生活に生かそう（主体的に学習に取り組む態度）の評価の3観点に沿った設問を掲載し、身についた資質・能力を確認することができる。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の4編が適切に分配され、全体の分量は適切である。 ・各内容の分量は、時数、学期、学年配分などから見て偏りがなく適切である。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成にしている。 ・情報モラルについて便利な点や注意点を考えられる構成にしており、図版を多数掲載し、生徒が理解しやすい表現になっている。 ・各節の紙面は基本要素を学習の流れ（目標、レッツスタート、学習課題、本文・図版、活動、まとめ）に合うように配置し、全ページで統一されている。 ・キャラクター「ミカッタ」のせりふは、技術の見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒が技術の見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるように工夫されている。 ・問題解決に必要な基礎的な技能を「TECH Lab」にまとめ、問題解決に活用できやすく配置している。 ・効果的に学習を進めるためのQRコンテンツを用意し、該当箇所Dマークを付している。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・大判の紙面を有効に使い、ダイナミックな写真を用いたり、折り込みページを用いたりして効果的に学習を進めることができるように工夫されている。 ・UD書体が使用され、可読性を高めている。環境への配慮として再生紙や植物油インキを使用するとともに、製本には針金を使用しないことでリサイクルにも優れている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な「問題解決例」を数多く取り上げ、統一された問題解決の流れを示しており、また座学と実習のバランスを考慮しながら学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な活動が行えるように工夫されている。 ・巻頭折込の「技術のめがね」と「最適化の窓」は3年間を通して繰り返し活用することで、持続可能な社会の実現のための技術の活用について考えることができる。 ・「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ・技術分野のガイダンスを巻頭に位置づけ、中学校で学習することや技術における問題解決の流れを概観できるようにしている。また、巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」を設け、安全な環境、安全な行動、安全な作業における注意事項を記述し、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるようにしている。 ・巻末には、「学んだことを社会に生かす」を設け、技術分野の学習を広げ、将来に生かしてほしいというメッセージを掲載している。 ・段階的に技術の見方・考え方に気づかせるため、技術の最適化について扱う内容には「技術の天びん」マークが付されている。 ・基本プログラムを押さえるプログラミング体験のページを設定し、身近な例を用いた基本の理解から自分なりの問題解決へと展開しやすくなったプログラミング学習となっている。 ・巻末に様々なプログラミング言語を体験できる「プログラミング手帳」やコンピュータの基本操作についてまとめた資料を用意している。 ・技術ガバナンス（技術を評価し、選択・管理・運用する力）、技術イノベーション（技術を改良、応用する力）は、各巻末に「未来の Technology」として、ワークシート例を掲載し、生徒に身につけたい力を育てることができるように配慮されている。
-------------------	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (技術分野)	6	教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する

項 目	項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の目標に対応した系統的な配列になっており、技術分野の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身に付く構成になっている。各編とも、1章を「技術を見つめよう」、次章を「技術をいかそう」、最終章を「未来をつくろう」で構成されている。 ・幅広い実習題材をそろえ、時間数や技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応できるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との学習の関連を表すマークを示して、教科間の学習の連携が取れるように配慮されている。 ・各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけが設けられ、技術について調べさせたり、考えさせたりする活動を通して、主体的で対話的な学びができるように配慮されている。 ・各編の最終章にある「社会の発展と技術」では、社会における技術のプラス面とマイナス面の資料を掲載して、自ら考え判断できる内容にしている。 ・実習に応じて安全のポイントを設け、生物育成では「衛生」のマークを配している。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・全体は、A B C Dの4つの編から構成され、偏りがなく、適切な分量である。各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるように構成している。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の精選と重点化が図られ、本文の理解を助けるために必要な写真・イラスト・図表などが適切な箇所に配分して構成されている。 ・写真や図などの資料が大きくて見やすくなっている。表紙のイラストや4コマ漫画など、生徒がわくわくする教科書になるよう配慮している。 ・発展的な学習の内容はなく、基礎的・基本的な学習内容で構成されている。 ・「もっと知ろう」「先輩に聞いてみよう」「スゴ技」「技ビト」のコラムにより、生徒が興味・関心を持てるように配慮されている。 ・本文は簡潔にわかりやすく実習題材や作業手順を丁寧に掲載している。 ・巻末に「設計・計画シート」「計画・育成シート」がとじ込められ、準備、評価の時間を短縮できるように配慮されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の重要語句は、視認性を上げるために青太文字になっている。また、UD書体で文字が大きく、紙面の構成が統一されている。 ・紙は軽くて、裏移りのないものが採用されており、再生紙、植物油インキを使用し環境に配慮している。表紙は防水加工されており、生徒が持ち運びやすいように配慮され、書き込みにも適しており、長期の使用にも十分耐えうる。 ・印刷は明るく目に優しい色遣いで読みやすいように配慮されている。また、写真が細部まで鮮明に印刷されている。

教科ごとの選定の観点

- ・実践的・体験的な学習活動において、別冊「スキルアシスト」を活用することで、実践に役立つ知識・技能の習得ができるようにしている。また、作業手順や工具の安全な使用を示し、事故防止への配慮がされている。
- ・コラムの「技ビト」・「スゴ技」、E編「夢をかなえる技術」で、学んだ技術が社会にどういかされているかを取り上げて、資質・能力を働かせてよりよい社会を創るという目標を持てるように配慮されている。
- ・生徒が主体的に問題解決に取り組めるように幅広い題材例が紹介され、漫画を用いた問題解決の流れを学べるページを設けている。
- ・「先輩からのメッセージ」のページを設けて、高等学校で専門的な学習に取り組む先輩を紹介し、生徒に進路について考えさせることができるように配慮されている。
- ・持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のマークを関連する学習内容に付けて、日本や世界で起こる諸問題を、自らにかかわる課題としてとらえられるようにしている。
- ・「見つける・学ぶ・ふり返る」を基本配列として、「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「ふり返る」で学習理解の確認ができるようにチェック欄が設けられるなど工夫されている。また各編の各章の最後に、各章の学習をふり返り、学んだことをまとめる内容が掲載されている。
- ・学習の冒頭の「めあて」と、ページ末の「ふり返る」が対応しており、評価を見取りやすくなっている。また各編末では、評価の3観点に対応した「やってみよう」や「まとめの問題」で学習を振り返ることができる。
- ・QRコンテンツが充実しており、端末を使った授業に活用できる。
- ・内容D「情報の技術」について、情報の流れを表す図やプログラム全体の動作をまとめたアクティビティ図の書き方を丁寧に取り上げている。
- ・プログラミング言語はブロック型の言語と日本語言語の両方を示し、プログラミングの学習が進めやすいように配慮されている。また、プログラミングの実習題材では、制作手順の細分化により、生徒が作業の手順を追いながらプログラミングの理論が理解でき、無理なく学習が進められるように配慮されている。
- ・小中高の連携が図れるようにビジュアル型と日本語入力型のプログラミング言語を扱った実習題材を紹介している。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (技術分野)	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

項 目	項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容の範囲は、学習指導要領に適合しており、生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、弾力的に対応できるように工夫されている。 ・各内容の系統性は、基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されており、適切である。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容とも「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に組織されている。 ・小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページにて示している。 ・実習例における設計や計画などは、項目ごとにまとめながら文章によって表現できるようになっている。 ・安全への配慮として、随所にマークを使って取り上げている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は全体として分系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できるように考慮してまとめている。 ・本文は、特定の事項・事象・分野などに偏ることなく、全体として調和がとれている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容は、本文・図・イラスト・写真など、いずれも正確で分かりやすく丁寧に記述されている。 ・写真や図版はわかりやすく、必要な箇所では生徒が自分で作業をしているように見えるアングルで撮影した写真が使用されているなど、理解を促すための工夫がなされている。 ・生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークを付け、本文と関連付けて無理なく配置されている。 ・巻頭のガイダンスで、4コマ漫画を読んで学習の流れのイメージをつかませるように工夫している。 ・各内容の適切な箇所に QR マークを記載することによって個別最適な学びが実現できるように配慮されている。 ・安全への配慮や環境、防災、伝統文化との関連、他ページや他教科とのリンクなど、学習に大切な要素を見やすいマークで表している。 ・本文では読み疲れにくい明朝系、図や参考では視認性の良いゴシック系などを使い分けている。また、単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすくなっている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・全項カラーで美しく印刷されている。可読性の高い UD フォントを使用して読みやすく、内容に応じて適切な大きさが使われている。 ・環境に配慮した植物油インキが使われている。 ・軽量化された用紙が使われ、薄くて丈夫で生徒の負担にも配慮されている。 ・製本は強固に接着されており、堅牢で長期の使用に問題ない。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の目が地域に向くように、地域の技術について取り上げた写真や話題などを豊富に使用している。 ・各編の最後にインタビュー欄が掲載され、技術に関する職業の理解を通して職業観・勤労観を育み、勤労を重んずる態度を養えるようにしている。 ・ガイダンスのページでは、技術の見方・考え方を取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。 ・各内容で、既存の技術を、技術の見方・考え方で読み解く活動がワークシート形式でできるようになっている。 ・各内容の出口では、これからの技術について考えさせられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識を持てるように工夫されている。 ・環境や共生に関する内容は、ガイダンスをはじめ、個々の学習場面や各内容の最後で取り扱い、学習活動や生活の中で環境や共生を大切にする実践的態度が身に付くように配慮がされている。 ・社会から学び、学んだことが社会につながる学習を、トレードオフを考慮し技術の最適化に挑むことで身につけることができるように工夫されている。 ・豆知識には学習内容に関連する興味深い話題が掲載され、ツメ見出しでは、内容に関係した工具や部品などの名前が紹介されている。CHECK では、学習課題と対応して、学習したことをふり返っておさえることで、指導と評価の一体化を目指している。 ・プログラミング実習例はブロック型言語を中心に問題解決を行いやすいように配慮している。 ・情報の内容では、外来語や略語について本質的に理解できるよう英語の綴りが併記されている。
-------------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

項 目	項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された「教科・分野の目標及び内容」、「指導計画の作成と内容の取り扱い」に準拠し、必要かつ十分な内容が適切に扱われている。 ・それぞれの編の各章・節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるように基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ・各編末には「持続可能な社会」について考える章を新設し、各学習内容と持続可能な社会の構築を関連させて考えられるようにしている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各編は「編の導入」、「基本ページ」、「学習のまとめ」の構成で統一され、実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げている。 ・教科書の配列が「自立から共生」のストーリーになるように工夫されている。 ・各編末には「学習のまとめ」が見開きで設けられ、評価の三観点に基づいて復習できるように工夫されている。また、編ごとに学習をふり返って生活に生かしたいことを記述する欄を設け、学んだことが生活に生かされるように配慮されている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容の分量は、時数、学期、学年配分等から見て偏りがなく適切である。 ・教科書の構成を1節1時間の全59節で統一し、座学59時間に実践的・体験的な学習を選択的に取り入れることで3年間の87.5時間が網羅できるように工夫されている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・実習例にはさまざまな難易度の題材を取り揃え、生徒や学校の実態に応じて選択できるように配慮されている。写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いているほか、QRコンテンツも充実しており、学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。 ・キャラクターのセリフはすべて文節改行となっており、読みやすさに配慮されている。 ・各編の扉ページに小学校家庭科で学習した内容のキーワードを設け、小学校での学習をふり返ってから中学校の学習を進めることができる。また、Dマークの付いた小学校リンクマークで小学校家庭科教科書紙面を確認できる。 ・男女共同参画社会やダイバーシティ（多様性）など共生の視点を重視し、随所にイラストを掲載している。また、右利きと左利きに対応しているほか、生徒の手や体の巧緻性の個人差に配慮し、写真やイラストを用いて解説している。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文用紙は軽量の紙が使用され、再生紙や植物油インキを使用するとともに裏抜けを抑え、食品の鮮やかさや人物の肌の温かみが豊かに表現されている。 ・大判の紙面を有効に使い、ダイナミックな写真を用いたり、折り込みページを用いたりして効果的に学習を進めることができるように工夫されている。 ・長期の使用に耐えるよう、堅牢に製本されている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・QR コンテンツでレシピを確認することができ、家庭での実践につなげることができる。 ・「ミカタ」のキャラクターが見方・考え方を働かせることのできる場面で登場し、関連するセリフで生徒の意識を高めさせることができる。 ・巻頭には、実習時の安全に関する資料を掲載し、一般的な注意事項を実習の流れに沿って分かりやすくまとめている。 ・脚注に豆知識である「せいかつメモ」を設け、興味・関心に応じて扱うことができるように工夫されている。 ・他教科との関連が随所に示されているほか、他教科リンクマークでは紙面を実際に見ることができ、教科横断的なカリキュラム・マネジメントの一助となる教科書となっている。 ・全体を通して記入例やワークシート例、話し合いの場面などが充実しており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。QRコンテンツが充実し、全ての生徒が学びやすいように配慮されている。 <p>A 家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスとの関連を図り、家族や幼児、高齢者の内容が円滑に進められるようにストーリー性を持たせている。 ・幼児や高齢者に関する内容は教科書の後半に位置づけるなど、実態に合った構成になっている。また、高等学校の学習へつなげることもできるように配慮されている。 ・絵本や漫画、ロールプレイングを取り入れるなど、客観的に家族について考えられるように配慮されている。 <p>B 衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の実物大写真、6つの食品群をはじめ、多くの食品を写真で紹介している。調理実習は豊富な題材例数を鮮明な写真で紹介し、生徒の関心・意欲を高めるように工夫されている。 ・資源や環境に配慮した製作の例として、余り布を用いた小物や衣服のリフォーム・リメイクが取り上げられている。 ・家庭内事故や自然災害への対策に関する内容が充実し、資料から多彩な安全教育が実践できるように配慮されている。 ・衣食住とも日本の文化を大切にすることを育むような内容・写真が掲載されている。 <p>C 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活者としての自立するために大切な「意思決定のプロセス」を明確に示している。 ・省エネルギーや3R、エシカル消費などの内容は、衣食住の学習内容との関連を図り、相互に学習が深められるように工夫されている。 <p>選択必修 生活の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にまとめ、各学校の実態に応じて、また内容を複合的に選択して履修できるように配慮されている。
-------------------	--

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (家庭分野)	6	教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿った構成になっており、知識・技能を身につける導入と本文ページ、思考力・判断力・表現力を養うページをくり返すことで問題解決的な学習を通して資質・能力が身に付くように配慮されている。 ・教科書全体を通して、持続可能な社会の構築について、生徒の興味・関心をひきつけ、自分にできることを考えることができるよう配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「つなぐ、つながる」をテーマとして、家族、家庭、地域へと学びがつながっており、これからの社会に出ていく生徒が人や文化、地域や社会とつながっていく未来をイメージしやすくなっている。 ・実習題材は、基本の作り方をもとに工夫の例が示され、基礎技能の練習ができる題材選びから問題解決的な題材へと系統的に配列し、生徒の学習段階に合わせて取り組めるように配慮されている。 ・本文掲載ページの「ふり返る」には、生徒が評価を書き込める欄があり、学習のまとめりごとに自己評価できるように配慮されている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の分量や並びは適切で、本文に沿って必要な図表や写真等が適切に配分、構成されている。また、学びを助ける効果的なイラストも活用され、理解しやすい。 ・読みやすい教科書となっており、文字や行間などのサイズも適切である。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・各学習の導入「みつめる」では、写真や一コマの漫画場面を通じて、生徒が身近な生活から見方・考え方の視点を通して気づきを得られるように工夫されている。「みつめる」を受けた「見つめてみよう」では、気づきをより深めるための問いが示されている。 ・実習ページの写真は完成のイメージがしやすく、実習中に参照することに適している。 ・ほぼ原寸大の食品写真や生き生きとした表情の写真、イメージしやすいイラストなどを、生徒の目に留まるように掲載している。 ・住生活において、災害や防災について分量を使って適切に扱われている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文と資料のバランスを考え、読みやすさにこだわった紙面で、机の上での開きやすさと強度を兼ね備えた本の造りとなっている。 ・丈夫な製本で表紙は防水加工され、汚れにくく丈夫さが長持ちするよう配慮されている。 ・印刷は明るく目にやさしい色遣いになっており、料理や布の製作などの実習ページの写真が細部まで鮮明に印刷されている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して、学習指導要領の内容が漏れなく生徒の興味関心に沿って構成されている。小学校からのつながりや、他教科への広がりなども意識されており、より深い学びが実現できるよう工夫されている。デジタルコンテンツも充実しており、さまざまな学習状況に対応した学びが実現しやすい構造になっている。 ・生徒が自分事として学びを捉え、生活をよりよくしていく意識をかき立てることのできる教科書となっている。 ・将来の職業や未来の生活の参考になるように、家庭分野にかかわる職業の先輩のインタビューが掲載されている。 ・「学びを生かそう」の記録レポートは、自分の生活課題の改善の流れに沿ってまとめて発表することができ、生徒の表現力につながる。 ・関連マーク（小学校や他教科）や安全・衛生マーク、環境マーク、防災マーク、消費者マーク等で生徒が意識を高めることができるように配慮されている。 <p>A 家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児とのふれ合いにおいては、イメージの伝わる写真や安全への配慮だけでなく、実際に実習ができないときの学び方まで示されている。 ・男女共同参画社会に関するコラムが掲載されている。 ・地域で活躍している中学生や高齢者、幼児の成長の様子分かる写真などを多数掲載している。 <p>B 衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を使った製作では、基礎的な題材から防災を意識した題材まで幅広く扱われており、アレンジ方法なども示されているので、生活にいかしやすい。 ・調理実習では、生徒が興味を持ちそうな題材が扱われており、目安時間やアレルギー食材、安全や衛生への配慮などがされている。 ・調理や縫い方、住まいの空間や換気についての基礎技能について簡潔に示されている。 ・だしを使った料理や郷土料理などについて、わかりやすく掲載している。 ・食生活・衣生活と環境や防災とのつながりについて手厚く扱われている。 <p>C 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックゴミ問題等について気づきを促す写真や、インターネット販売やキャッシュレス決済など今日的な題材も掲載している。 <p>選択必修 生活の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に生活の中の課題例を掲載している。
-------------------	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ

項 目	項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。地域や学校事情等によって順序の組み換えがしやすくなるように工夫されている。 ・各内容・項目とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。生徒の思考の流れに沿っていて、教科の特徴を無理なく具体化している。 ・3つの内容が空間軸と時間軸の視点で整理されており、空間軸の視点である自己と家族・家庭・地域と時間軸の視点であるこれまでの生活及び現在とこれからがわかりやすく記述されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容の章末に「持続可能な〇〇生活」の節が設けられ、持続可能な社会を目指して考え行動できるように取り上げている。 ・学習のまとめりごとに見通しをもち、生活の中から課題を見つけられるよう本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組めるように工夫がされている。また、学習のまとめりごとに「学習のまとめ」があり、学習の自己評価ができるとともに身についた知識や技能などを生活にいかすことのできるしくみになっている。 ・項目の導入では、生徒の身近な話題を用いながら生徒がそれぞれの学習に興味・関心をもって取り組めるようになっている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける科学的な資料を、効果的な表現や分量・大きさで示している。 ・各内容、各項目に配当する授業数に応じて、分量を適切に配列している。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるように設定されており、学んだ知識や技能を生活にいかす際に工夫する能力につながっている。 ・観察や実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、発表等の場面を学習過程の各所に設定しており、主体的・対話的で深い学びができる仕組みになっている。 ・MLBで活躍する選手やLGBTQなど現代社会で取り上げられている事例を掲載し、関心を持って学習に取り組めるようになっている。 ・中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用して、学習に取り組みやすいように工夫している。 ・多種多様な職種で働いている人へのインタビューなどを取り上げ、進路のヒントやキャリア教育につながるように工夫している。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明で、弱視の生徒に読み取りやすいカラー効果の配慮をしている。再生紙を使用し、植物性のインクを使用していて環境に配慮している。 ・製本は堅牢で、表紙は水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。 ・本文と図表・写真の関係がわかりやすい配置になっている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方に示された視点が全体を通して展開されている。 ・ガイダンスが冒頭のページに設けられていて、小学校の学習を振り返り、小学校や他教科との関連に気づき、3年間の学習の見通しを持てるようになっている。 ・調理や製作などの実習手順図は、生徒の視線の流れや特別支援教育を考慮して見開きのページを使って横に流れる記述で表記され、基礎・基本を習得するための適切な配慮がなされている。 ・「伝統文化マーク」が日本の伝統的な生活文化を取り上げた箇所につけられていて、わかりやすく示している。 <p>A 家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や幼児・高齢者など異なる世代の人たちと関わり、地域の中で共に生活する視点で項目が構成されている。 ・原寸大の幼児の手形・足跡やイラストなどによって、生徒の気づきや疑問を引き出し、他者への理解を深めるように工夫をしている。 ・とびらページや紙面の中で多様な家族例が紹介されたり、相手の立場になって考えるロールプレイングの活動であったり、場面例を設定しながら様々な視点から他者理解できる工夫がなされている。 ・随所に掲載されている「中学生の取り組み」やQRコードを使った「先輩からのエール（音声を聴く）」を通して、地域・社会の一員としてその後の生活につなげられるように、また中学生が自ら学びを広げていけるように配慮されている。 <p>B 衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習例は誰もが見やすいように手順を横流れに示し、「調理方法Q&A」が設定され、科学根拠に基づいた知識・技能が図られるようになっている。 ・食物アレルギーに対する正確な理解が得られる記述が本文にあり、実習例の「材料と分量」を目立つように示していることや、食品の概量をイメージしやすいように、食品を実物大で示している。 ・製作の手順をQRコードの動画で確認することができる。 ・家庭内事故や災害に備えた住空間の整え方を学ぶとともに、わかりやすいイラストから対策を考える学習や「考えてみよう」で話し合いながら課題解決の学習につなげる配慮が見られる。 <p>C 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活のしくみや収入と支出のバランスなど、具体的な課題や事例、イラストを使用して、視覚的にわかりやすく示している。 <p>選択必修 生活の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が家庭や地域で実践できるように実践のすすめ方やまとめ方が掲載されているので計画を立てやすい。また、多種多様な課題例を豊富に紹介し、生徒が課題の設定と実践のイメージをもちやすく工夫されている。
-------------------	--